



写真は「東京アウトプット勉強会」と「東京文学サロン月曜会」の合同開催の様子。本来は客層も課題図書の種類もまったく異なる両者だが、両方の参加者を1カ所に集めた合同企画が行われることもある。東京ミッドタウンで行われたこの合同企画では、200人以上のメンバーが参加していた。

READING
PARTY
001

猫町倶楽部



“

総メンバー数、約5000人!

日本最大級の読書会コミュニティである猫町倶楽部。

その様子を見てみよう。

参加の条件は

「課題図書を読んできると」だけ

5000人超のメンバー数を抱える読書会コミュニティ「猫町倶楽部」。その前身となる読書会が発足したのは、2006年のこと。当初は名古屋を中心にした、知人同士のつながりの中で行われる、小規模な集まりに過ぎなかった。しかしその後、メンバーの1人が東京へ赴任したことをきっかけに、東京へ進出する。

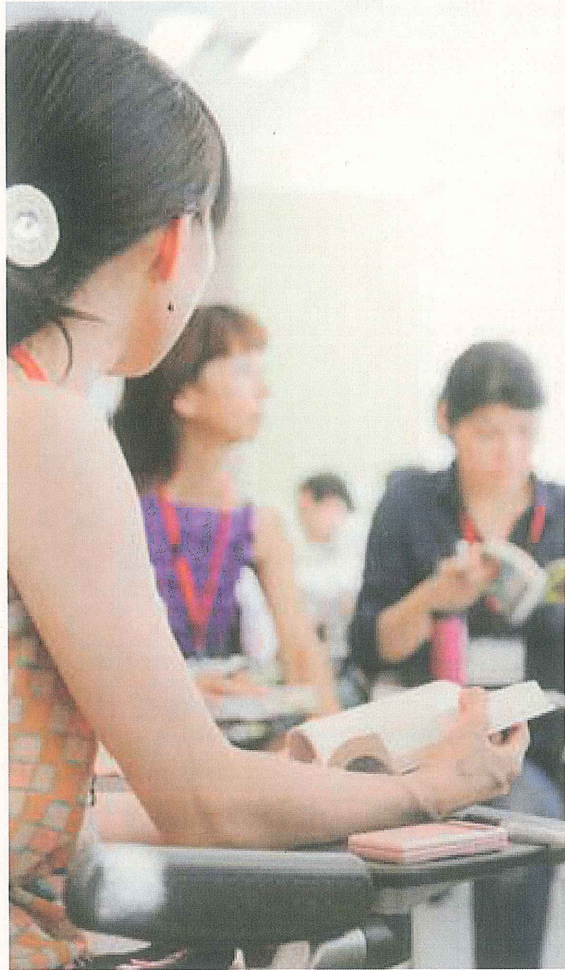
当時流行し始めたSNSを積極的に利用したことや、誰でも気軽に参加できる読書会が少なかったこと、各種メディアで取り上げられた影響もあり、徐々に規模を拡大。今では東京、名古屋、京都で月例の読書会を開催するまでに。SNSにより参加者が増えた経緯もあり、参加者は20〜30代が約9割を占める。

一般に読書会といえば、ビジネス系と文芸系の2種類がある中、猫町倶楽部ではビジネス系の「アウトプット勉強会」、文芸系の「文学サロン月曜会」、2つの読書会を運営している。志向に合った読書会を選ぶことも、メ

ンバー数を増やした要因の一つだろう。また、読書会初心者にとってうれしいのが、参加にあたっての条件や会の仕組みが明確なこと。「毎回指定される課題図書を読み終えてくる」という条件さえ満たせば、誰でも読書会の輪に加わり、充実した読書会の時間を送ることができる。場所・人・服装・音楽といった、読書以外の部分の演出に気を遣い、毎回雰囲気のある場所やドレスコード、BGMなどが選ばれているのも、この読書会ならではの特色だ。

読書「体験」に、気軽に参加できるのが、猫町倶楽部の魅力だ。元来、私的なものだった読書体験を他者と共有することで、参加者同士の仲間意識も生まれる。事実、読書会を通して知り合い、結婚にまで至ったカップルの数も多いという。

「音楽やアートといったジャンルを横断し、文化的価値の高いものをコミュニティ活動の中で取り上げることで、それらの価値を世に発信していく」。そんな目標を掲げ、活動を続ける猫町倶楽部。日本における読書会文化、大人の集まるサロン文化の牽引役の動向から、今後も目が離せない。



猫町倶楽部

 *こんな人にオススメ：ビジネスパーソン、文芸好きな人、人との出会いを求める人 *取り上げる本：ビジネス書、文芸書 *場所：「東京アウトプット勉強会」はミッドタウン・タワー 25F シスコシステムズ会議室（〒107-6225 東京都港区赤坂 9-7-1）、「東京文学サロン月曜会」は代官山 Chano-ma（〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西 1-34-17 Za HOUSE ビル 2F）
 *開催日時：[土・18:00～21:00] 東京アウトプット勉強会、[日・16:30～18:30] 東京文学サロン月曜会（時間は変動あり） *TEL：052-774-3150 *URL：www.nekomachi-club.com *イベントの種類：読書会
 *イベント開催頻度：「東京アウトプット勉強会」、「東京文学サロン月曜会」の場合、各月に一回 *イベント参加方法：ホームページより



ビジネスから文芸書まで包括
 ビギナーにぴったりの
 読書会コミュニティ

